

第1章 事業概要

第1節 事業の趣旨・目的

ASEAN の学生を主な対象とし、彼らの日本留学への潜在的関心を引き出し、顕在的関心を強固なものとするため、広報ツールとしての ASEAN 地域の各国語版 Facebook ページとその連携構造の構築・運用やリーフレットの作成・配布を実施する。

そこでは、日本留学や就職だけでなく、より一般的な日本の魅力をアピールする内容も投稿し、閲覧者が拡散することで日本への興味が薄い層にまで日本、及び日本留学に関する意識を啓発する。さらに、一昨年度本財団が推進した事業の成果である日本留学・就職を促進・支援するための WEB サイト「JES」(J-Study から名称変更) や専修学校、企業等の SNS と連動することにより、Facebook ページの発信する情報から日本に関心を持った ASEAN の学生が留学・就職について、より整理され充実した情報を得られるようにする。

また、本事業を継続性の高いものとするための事業モデルとしてコンソーシアム形態を想定する。それにより、特に日本の専修学校への留学を促進し、ひいては日本の産業競争力の向上に寄与することができる人材を育成することの一助となることを目的としている。

なお、本年度は 3 年間の事業推進の 2 年目に当たり、①昨年度構築したベトナム語版 Facebook ページ「JES - Thông tin về trường dạy nghề Senmon Gakko」における取り組み、②英語版 Facebook ページの構築、③英語版 Facebook ページの実証実験、④英語版 Facebook ページのリーフレットという 4 つの取り組みを行った。

第2節 事業の概要

平成30年度は、以下の4項目の事業を実施した。

①ベトナム語版 Facebook ページ「JES - Thông tin về trường dạy nghề

Senmon Gakko」における取り組み

昨年度の成果であるベトナム語版 Facebook ページ「JES - Thông tin về trường dạy nghề Senmon Gakko」を継続的に運用し、Facebook ページのシステム分析、情報の拡充、イベント、フィードバック獲得といったと仕組みを行った。

②英語版 Facebook ページの構築

①の実績を踏まえ、必ずしも日本への関心が高くない層にも日本留学に関する意識を啓発し、同時に日本や留学・就職への関心が高い層を「JES」Web サイトなどへと誘導できる効果的な Facebook ページの英語版を構築した。ここでは、日本での職業やキャリアについて学ぶができるコンテンツの提供や、学校情報を英語で閲覧することができるような WEB サイトを構築し連携を行った。

③英語版 Facebook ページの実証実験

②の Facebook ページ実証実験として運用し、記事や広告を投稿した上で結果を分析した。

④英語版 Facebook ページのリーフレット作成

②の Facebook ページを宣伝するため、留学イベントや日本語学校等で配布可能なリーフレットを作成した。

第3節 具体的取り組み

①ベトナム語版 Facebook ページ「JES - Thông tin về trường dạy nghề Senmon Gakko」における取り組み

[名称]

「JES - Thông tin về trường dạy nghề Senmon Gakko」

[目的]

平成 29 年度構築した、ベトナムに対して日本と日本留学（主に専門学校）への関心を喚起するための SNS ページの拡張及び修正を行う。

[内容]

(A)Facebook ページシステム分析

投稿、メッセージ、利用者、広告のデータについて整理、分析を行うことで Facebook ページ運用に関する検討を行う。

(B)情報の拡充

ベトナム語で日本留学に関する情報を発信している企業との連携を図ることで、ファンへ昨年度よりも多くの専門学校情報を提供できるよう取り組む。また、ファンが自分で日本での職業キャリアや日本の歴史・文化を学習できるようなコンテンツを提供する。さらに、テスト版のイベントを行い日本語や日本就職に関わる内容のテストを行う。

(C)ファン、協力校からのフィードバック

本 Facebook ページが日本及び日本留学への興味を喚起するものであったかを検証するため、アンケート等の方法で閲覧者からのフィードバックを得る。また、本事業にご協力いただいた学校からも意見を抽出できるようにする。

②英語版 Facebook ページの構築

[名称]

「JES (Japan, Education & Senmon Gakko) -English」

[目的]

マレーシア等を中心とした英語圏の ASEAN 諸国に対して日本と日本留学（主に専門学校）への関心を喚起するために、口コミによる拡散を誘発できるような Facebook ページを企画・設計・構築する。

[内容]

(A)企画

- ・方針：各種ページとの連携し、高い拡散効果を狙う。
- ・目標：予算枠内で想定する拡散効果のある機能やコンテンツと連携を実装。
- ・期間：今年度で英語に対応する。

(B)設計

- ・機能：基本機能から必要なものを選定し、設定内容を決定する。
- ・変更：ページを支援する機能を選定し、開発の仕様を決定する。連携する SNS や Web サイトを選定し、連携形態を決定する。

(C)構築

- ・基本設定：オリジナル機能の設定をする。(アカウント、権限、基本データ等)
- ・特設サイト：専門学校の情報を英語で閲覧できるような特設サイトを開設する。そこでは、自分が興味を持っている分野を選択することで、その分野の学科やコースを持っている専門学校が表示され、学校に関する情報を得ることができる。
- ・コンテンツ：日本に対して関心度が必ずしも高いとは言えない外国人の層であっても関心を持つきっかけとなり、さらには関心を深めることにもなり、日本への留学に興味を持ち始めた層に対しては結果的に専修学校の内容などを紹介で

きる特設サイトを実装する。具体的には、日本での職業・キャリアに関するものなどを専修学校との関連から知識を深めることのできる内容のものを実装する。

・投稿：投稿内容に関しては、昨年度のベトナム語版 SNS の運用から得た知見を活かし、専門学校情報と日本に関わる様々な情報を発信していく。さらに、英語版は主にマレーシアを中心とした ASEAN の英語圏諸国を対象としているが、その他の ASEAN 諸国の英語を理解する学生達にも閲覧されることが想定できる。したがって、投稿内容はマレーシアに関係のあるものだけでなく、ASEAN 地域全体に発信できるよう配慮する。

・連携構築：他の SNS や Web サイト（専修学校、日本語学校、関連団体、企業等）との連携設定をする。また、事業開始後、他の採択団体の開発したサイトとの連携も視野に入れる。なお、構築の詳細は第 3 章で詳述する。

③英語版 Facebook ページの実証実験

②で構築した Facebook ページの有効性を評価するため、連携する学校の学生及び広く一般の日本に対して興味のある 10 代半ばから 20 代後半の Facebook ユーザーに構築した Facebook ページを利用して貰い、データを収集した。その詳細は第 4 章で詳述する。

④英語版 Facebook ページのリーフレット作成

留学フェアなどのイベントでの配布や日本語学校などでの宣伝に活用することで、英語版 Facebook ページの認知度向上を図ることができるよう英語版リーフレットを制作した。具体的には、第 5 章を参照。

第4節 実施体制

本事業を推進するための体制は以下のとおりである。実施委員会が事業方針・計画を策定し、事業推進の管理・評価する。そのもとに分科会を設置し、開発仕様の策定と開発物の検証を実施する。さらに、分科会の管理下で事業推進管理者が、事業推進における各種リソース・成果・経費等を管理し、内外の調整を行う。そして、そのもとで協力者・専門業者等に具体的な業務を依頼する。事務局は、事業推進を一貫して補助する役割を担う。



本事業の中核となる実施委員会の構成員は以下の通りである。

	氏名	所属・職名	役割等	都道府県名
1	谷田部賢一	一般財団法人日本教育基盤財団 代表理事	統括	東京都
2	篠原克彦	学校法人滋慶学園 東洋言語学院 事務局長	実証	東京都
3	中川由加里	学校法人滋慶学園 滋慶国際交流COM 代表	実証	東京都
4	根本峰人	学校法人仙台北学園 仙台リハビリテーション専門学校 事務局次長	実証	宮城県
5	浅川英文	学校法人東京安達学園 専門学校東京スクール・オブ・ビジネス 校長	実証	東京都
6	細野修一	学校法人アテネ・フランセ 専門学校アテネ・フランセ 理事	実証	東京都
7	屋宜宣秀	学校法人フジ学園 専門学校IT カレッジ沖縄 事務局長	実証	沖縄県
8	小山裕司	公立大学法人首都大学東京 産業技術大学院大学 情報アーキテクチャ専攻長 教授	評価	東京都
9	宮里智樹	国立大学法人琉球大学 工学部 システム情報工学 助教	評価	沖縄県
10	赤羽幸雄	学校法人札幌学院大学 客員教授	評価	北海道
11	重田誠	一般社団法人全国地域生活支援機構 常務理事	構築・実施	東京都
12	久保田学	一般社団法人留学生支援ネットワーク 事務局長	構築・実施	東京都
13	新井永鎮	株式会社ヒューマンパワー 代表取締役	構築・実施	東京都
14	工藤尚美	株式会社オリジネーター 取締役	構築・実施	東京都
15	平山雄一	株式会社アルバイトタイムプロジェクトマネージャ	構築・実施	東京都
16	林田かおる	ヒートウェーブ株式会社 代表取締役	構築・実施	東京都
17	増田一人	ジェイアイティグローバルサポート株式会社	構築・実施	東京都
18	竹島千歳	株式会社ネクステージ 代表取締役	構築・実施	東京都

第5節 スケジュール

本事業の今年度のスケジュールは以下のとおりである。

4/25	ベトナム語版 JES の独自運営開始

7/18	事業契約
8/6	第1回実施委員会・分科会
12/5	ベトナム語版 JES 仕様書承認、ベトナム語版 JES 事業運営開始 ベトナム語版学習コンテンツ準備開始、イベント準備開始
1/16	英語版 JES 仕様書承認
1/28	ベトナム語版学習コンテンツ公開
1/30	第2回実施委員会・分科会、英語版 JES 構築 英語版学習コンテンツ・専門学校情報サイト準備開始
2/12	ベトナム語版 JES イベント開始、英語版 JES 実証実験開始
2/18	英語版学習コンテンツ・専門学校情報サイト公開
2/20	ベトナム語版 JES イベント終了、英語版 JES 実証実験終了
2/25	第3回実施委員会・成果報告会